

次の資料に基づいて、精算表を完成させなさい。なお、決算日は3月31日である。

決算整理事項等

- 1 先日発生した現金過不足について調査をしたところ、¥1,500については通信費の記帳漏れであることが判明したが、残額については不明であったため適切に処理する。
- 2 仮受金は全額が売掛金の回収であることが判明した。
- 3 建物及び備品について次のとおり定額法で減価償却を行う。  
 建物：残存価額は取得原価の10%、耐用年数20年      備品：残存価額ゼロ、耐用年数 7年
- 4 売掛金の期末残高に対して1%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
- 5 期末商品棚卸高は¥246,000である。売上原価は「仕入」の行で計算する。
- 6 保険料の前払い額が¥15,000ある。
- 7 受取手数料は全額当期の12月1日に向こう1年分の手数料を受け取ったものであるため、前受分を月割りで処理する。

決算整理前残高試算表

借方	勘定科目	貸方
237,000	現金	
2,000	現金過不足	
938,000	普通預金	
570,000	売掛金	
199,000	繰越商品	
2,000,000	建物	
980,000	備品	
2,100,000	土地	
	買掛金	832,000
	仮受金	70,000
	貸倒引当金	4,000
	建物原価償却累計額	270,000
	備品減価償却累計額	350,000
	資本金	4,000,000
	繰越利益剰余金	406,000
	売上	4,120,000
	受取手数料	33,000
2,053,000	仕入	
780,000	給料	
156,000	水道光熱費	
45,000	保険料	
25,000	通信費	
10,085,000		10,085,000



## 【解答】

## 精 算 表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	237,000						237,000	
現金過不足	2,000			2,000			0	
普通預金	938,000						938,000	
売掛金	570,000			70,000			500,000	
繰越商品	199,000		246,000	199,000			246,000	
建物	2,000,000						2,000,000	
備品	980,000						980,000	
土地	2,100,000						2,100,000	
買掛金		832,000						832,000
仮受金		70,000	70,000					0
貸倒引当金		4,000		1,000				5,000
建物原価償却累計額		270,000		90,000				360,000
備品減価償却累計額		350,000		140,000				490,000
資本金		4,000,000						4,000,000
繰越利益剰余金		406,000						406,000
売上		4,120,000				4,120,000		
受取手数料		33,000	22,000			11,000		
仕入	2,053,000		199,000	246,000	2,006,000			
給料	780,000				780,000			
水道光熱費	156,000				156,000			
保険料	45,000			15,000	30,000			
通信費	25,000		1,500		26,500			
	10,085,000	10,085,000						
(前払) 保険料			15,000				15,000	
(前受) 手数料				22,000				22,000
雑 (損)			500		500			
貸倒引当金 (繰入)			1,000		1,000			
減価償却費			230,000		230,000			
当期純 (利益)					901,000			901,000
			785,000	785,000	4,131,000	4,131,000	7,016,000	7,016,000